

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月12日実施)	総合評価 (3月26日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①カリキュラムマネジメントの視点から魅力ある教育課程を編成し、運用・改善する。</p> <p>②授業改善に組織的に取り組み、基礎学力の定着を図り、思考・判断・表現する力を伸長することで、主体的に活動できる人材、いつでも社会に出られる人材を育成する。</p>	<p>①編成した教育課程を運用し、一人ひとりの生徒に寄り添えるよう改善に努める。</p> <p>②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう授業改善に組織的に取り組む。</p>	<p>①各年次での課題について調査・分析し、次年度へ向けて改善に努める。</p> <p>②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう、テーマを設定し授業改善に組織的に取り組む。</p>	<p>①明らかになった課題に対し、具体的な方向性を打ち出すことができたか。</p> <p>②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう、テーマを設定し授業改善に組織的に取り組むことができたか。</p>	<p>①カリキュラムマネジメントの視点から教育課程編成指針に沿って編成した教育課程について進路別の選択方法や授業展開について分析・検討を行った。</p> <p>②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう資料の提示や、各教科での検討を行った。</p>	<p>①多様な進路選択に対応できるよう、継続して検討を進める。また、展開の仕方や講座人数などについても今後検討を進めていく。</p> <p>②設定したテーマに沿った授業実践や授業見学を行うことで、生徒の主体的な学びについて職員の理解や共有が進み、ICTの活用の重要性を再認識できた。今後どのように発展的に活用し、個別最適な授業を行っていくかの検討など更なる組織的な授業改善に取り組んでいきたい。</p>	<p>①多様な進路選択に対応できるよう、カリキュラムマネジメントに継続して検討を進めてほしい。</p> <p>②ICTの活用について、海外の学校とオンラインで交流する授業を企画するなど、習得してきた英語でコミュニケーションにチャレンジさせてみる。1人1台タブレットの導入でどのような変化があったか知りたい。</p>	<p>①多様な進路選択に対応できるよう、カリキュラムを継続して検討をした。</p> <p>②生徒の主体的な学習につながるよう授業改善に取り組んだ。ICTの活用について、ハード面が整ったので、ソフト面での充実を図る取り組みをしていきたい。</p> <p>③振り返りをもとに、個別最適な学びについてさらなる授業改善を図っていく。ICTを活用し、海外の学校と交流するなど授業で実践的な機会を創出したい。また、タブレットの効果について検証し、より充実したコンテンツを提供できる方策を考案する。</p>	
2 生徒指導・ 支援	<p>①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める。</p> <p>②自己理解・他者理解を深め、自他を尊重できる人間関係を築き、いつでも社会に出られる(社会に通用する)コミュニケーション能力を育む。</p>	<p>①服装・遅刻・自転車指導等を組織的にを行い、生徒がルールを遵守し、望ましい生活習慣を身に付けられるための支援に取り組む。</p> <p>②自主自律の精神のもと、生徒主体の行事運営を行い、自他を尊重し周りの人との信頼関係を築き、価値観の多様化に対応できるコミュニケーション能力を身に付ける。</p>	<p>①継続的な指導を行うとともに、新たな学校生活アンケートなどを実施し、生徒の生活習慣や実態を把握する。</p> <p>②生徒が主体となり、あらゆる視点から行事の企画・運営ができるように適切な助言・支援を行い、「聴く・伝える・質問する」力や協調性を高めるための活動の場を設ける。</p>	<p>①生徒の生活習慣が安定し、生徒が注意を受ける件数が減少したか。また生徒の実態に応じて適切な支援が行えたか。</p> <p>②生徒主体の活動において5割以上の生徒が積極的に取り組み、満足感や達成感を実感できたか。また様々な生徒会・ボランティア活動を外部に向けて発信できたか。</p>	<p>①かながわ子どもサポートドックを実施することにより、新たな視点から生徒の実態を把握することができた。</p> <p>②文化祭アンケートで「クラスや学校のために積極的に活動できたか」に対して98%の生徒が「できた」「ほぼできた」と回答した。コロナ禍明けで制限のなくなった活動に多くの生徒が積極的に関わり達成感を得た。</p>	<p>①服装や頭髪、遅刻について気になる生徒が見受けられる。また自転車の事故が増えているため、生徒への指導を組織的に継続して行っていく必要がある。</p> <p>②文化祭での新たな試みとして、実施の前年度よりスタッフ制度を設けて準備を開始している。積極的な取組を、球技大会等の今後の学校行事にも継承し、耐震工事のため体育館が使用できないという条件の中、生徒たちが自ら創意工夫して有意義な行事運営ができるよう支援していきたい。</p>	<p>①SCやSSWの来校数が増えたが、家庭のことなどで悩みを抱えていたとしても、多感な時期の生徒が自分から進んで相談に行くのか気になる。教員それぞれが生徒の相談に応じることができるようにになりたい。</p> <p>②様々な取組により生徒たちが自ら創意工夫して有意義な行事運営ができるよう支援してほしい。</p>	<p>①SC、SSWの来校日数が増えたことで、生徒や教職員が相談しやすい環境が整った。一方で、この仕組みを有効に使いこなせていないところもある。</p> <p>②文化祭のスタッフ制度導入や球技大会の自主運営等、生徒主体に学校行事が運営できる仕組みが確立しつつある。</p> <p>③電子プログラムや結果集計、放送やオンライン配信等において、生徒にタブレットやICTを利活用させながら学校行事の主体的な運営を促す。</p>	
3 進路指導・ 支援	<p>①学習意欲に結び付けるキャリア教育を展開し、保護者・家族と共にライフプランの実現ができるようなキャリアデザイン能力を身につけさせる。</p>	<p>①卒業後10年の将来像を描き、その実現に向けて、上級学校での取り組み、それにつながる高校での取り組みを考え、意欲的に学習を進める。</p>	<p>①授業だけでなく、家庭学習の中でスタディサプリを活用し、学力を伸長する。</p> <p>①目標を立てるために、情報を精査し、比較考察する。</p>	<p>①スタディサプリの取り組み時間など学習時間が増えたか。</p> <p>①目標を設定するための調べ学習などができたか。</p>	<p>①授業での活用以外に、スタディサプリを利用して自学自習を進めている生徒が見られるようになった。</p> <p>①多くの生徒は、興味関心に基づき進路情報を集め比較検討したうえで方向性を探し、進路決定に至</p>	<p>①スタディサプリを自学自習に利用する生徒は限られていることから、主体的に学ぶ意欲を身につけさせ積極的に取り組む姿勢を養えるように指導方法の見直しが必要である。</p> <p>①進路決定に至る取り組みが消極的で流されている生徒や、就職に対して明確な意志を持たず、就職活動に取り組めない生徒がいた。</p>	<p>①学習の機会に、自分の将来像を描くために何に取り組むべきかを考えさせる。高校での学びを自身の進路につなげ、自分は社会にどう貢献していけばよいかを考えさせてほしい。</p> <p>①報道では、就職については学生が優位であると聞くが、進学ではどうなのか。</p>	<p>①自学自習に取り組む生徒が少数ではあるが見られるようになった。進路意識を高める必要がある。</p> <p>①進学のモチベーションは高いが、身近なところで志望先を選択する傾向が強</p> <p>①キャリア形成に向けた学習を意識させ、進路ガイダンス等を活用して、卒業後や10年後の自分をイメージした進路を考えさせる。</p> <p>①視野を広くすることで進路選択の幅を持たせる。そのために数多くの上級学校のオープ</p>	

						る過程を踏まえることができている。一方、情報を使わず見通しが甘くなり、進路決定が遅々として進まない生徒も見受けられた。	1年次から段階的に進路意識の醸成を促すために進路行事の見直しをするとともに、学校型選抜や総合型選抜などの進路にも使えることを意識した探究学習の整備が必要である。	また、大学全入時代と言われるが、生徒に進学に対するモチベーションの変化はあるのか。	い。	ンキャンパスなどへの参加を積極的に勧める。
4	地域等との協働	<p>①学校と地域の連携協働の「現状と課題」を把握し、改善を意識した学校運営協議会を運営する。</p> <p>②学校と地域の連携協働の促進により、地域連携部会において生徒と地域の両方の将来を考えていく開かれた学校づくりを進め、地域の力を学校運営に反映させる。</p>	<p>①学校運営協議会の充実を図り、学校運営協議会をとおして地域と協働連携を図り、地域の力を学校運営に生かす。</p> <p>②地域連携部会等の連携をとおして、学校と地域がともに生徒を育てる取組を推進する。</p>	<p>①学校運営協議会の意見や提言を生かす取組ができるように各部署との連携を強化し、実現に向けて取り組む。</p> <p>②地域との連携を図り、学校と地域がともに生徒を育てる取組を推進し、充実した地域交流を目指す。</p>	<p>①各部署と連携し、学校運営に生かす具体的方策について集約し、実現できたか。</p> <p>②地域との連携協働により、生徒の主体的な取組を推進・検討し、充実した地域交流ができたか。</p>	<p>①学校運営協議会の意見や提言を活かす取組ができるように各部署との連携強化を目指した。議事録の作成を迅速に行った。</p> <p>②10月に地域貢献デーを設定し、1年生生徒が地域清掃を行った。また、ボランティア生徒が地域との交流を行った。旭だよりを発行し地域へ定期的に情報を発信した。</p>	<p>①各部署との連携をより強化する。様々な取組の情報の発信をさらに充実させていく。</p> <p>②地域との連携協働により、生徒の主体的な取組を推進し、更なる地域交流を目指す。旭区役所等、近隣の外部機関と旭高生が協力しながら行える地域貢献活動を模索していきたい。</p>	<p>①「あさひアワード」が3年目となり、がんばった生徒に卒業式で特別表彰があったのはよかった。生徒の活躍を生徒の前で共有することで良い刺激が生まれる。</p> <p>②生徒のボランティアは、本当に助かっている。高校の年間予定を教えてもらえば、参加可能なボランティアの機会をもっと紹介できる。</p> <p>②同じ地域の小学校として校種は違っても連携していきたい。</p> <p>②生徒のニーズが具体的にわかれば、ロータリークラブも協力できる。</p>	<p>①「あさひアワード」の表彰を継続して行い、生徒の活躍を共有することができた。</p> <p>②生徒のボランティア活動を充実させることができた。生徒のニーズの把握と地域との情報共有に課題が残る。</p>	<p>①学校運営協議会の提言を実現できるようなものがあれば、新たな取り組みとして取り入れ、より良い学校づくりにつなげていく。</p> <p>②ボランティア活動の更なる充実を図るために、高校の年間予定などを地域に共有する。旭区（役所）や地域の他校種との連携も拡充する。さらに生徒のニーズも学校として把握し、地域との連携を強化する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①ICTを利活用したさまざまな活動を支援するための教育環境を整備する。</p> <p>②生徒の防災意識・感染対策意識の向上に努める。また、SDGsを推進するための意識を醸成する。</p> <p>③情報を迅速に発信し、開かれた学校をつくる。</p>	<p>①ICT環境整備後の各機器の使用状況を把握するとともに、故障時の対応などICT環境を適切に維持する仕組みについて検討する。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、大災害発生に備えての意識づけを推進する。</p> <p>③本校の取り組みを適切かつ迅速に発信し、本校の魅力を広く伝える。</p>	<p>①設置機器の定期点検を実施する等、通信設備の維持に努める。</p> <p>②学期毎に大災害を想定した避難訓練を実施する。</p> <p>③本校の魅力を適切かつ迅速に発信できるように本校のホームページの充実に取り組む。また、他の情報発信方法について検討する。</p> <p>③生徒主体の学校説明会を開催し、魅力を伝える。また、本校の魅力を適切かつ迅速に発信し、開かれた学校をつくる。</p>	<p>①ICT機器の使用頻度を確認するとともに、それらが適切に使用されていたか。</p> <p>②避難訓練後にアンケートを実施し、振り返りを行う。</p> <p>③ホームページを迅速に更新し、充実することができたか。また、有効な情報発信方法を見つけることができたか。</p> <p>③学校説明会のアンケートで90%以上の肯定的回答が得られたか。迅速に情報発信することができたか。</p>	<p>①ICT機器等の設置機器の定期点検を実施した。</p> <p>②1学期に予定していた放課後の避難訓練については雨天中止となった。2学期以降、実施予定である。</p> <p>③ホームページを迅速に更新した。また、部活動の活動内容を生徒の主体的な取組により、毎月更新するように促した。</p> <p>③生徒主体の学校説明会が実施できた。1月時点で、延べ人数で約3,500名の中学生、保護者に対して広報活動を行った。</p>	<p>①現在、ICT機器等の通信環境に不具合は見つかっていない。</p> <p>②天候に左右されてしまう場合があるが、雨天プログラムで対応することも検討したい。</p> <p>③ホームページ更新頻度が少ない部活動があるため、当該部活動の生徒へは積極的に声掛けなどを行い、更新を促したい。</p> <p>③第一回学校説明会や第二回学校説明会等のアンケートで90%以上の肯定的回答が得られた。今後もより満足度の高い学校説明会を実施していきたい。</p>	<p>①全教室にモニターが設置されていて感心した。教員の負担が大きいのではないか。</p> <p>②登下校中など、地域の中で災害が発生した時に、どこに避難所や防災拠点があるのか知る必要がある。大切な家族や友人が倒れた時に備え、心肺蘇生講習などを考えてはどうか。</p> <p>③「あさひだより」（地域への情報発信）の紙面をもっと充実させてはどうか。生徒の意見などを載せて、地域と高校生の親しい関係を増やしていきたい。</p>	<p>①ハード面ではモニター等設置が完了し定期的なメンテナンスを実施。ソフト面では、各教科でソフトを活用した教材研究が求められる。</p> <p>②学校評価部会での助言を生かし生徒の防災意識を深める内容を検討し実施する。</p> <p>③ホームページの更新を迅速に行った。また、学校説明会の充実を図った。地域への情報発信については改善の余地がある。</p>	<p>①教材として活用できるソフトウェアについて情報収集するとともに、ハードに関しては予算に盛り込み対応する。</p> <p>②地域や小中校との連携も含めた防災計画を立案し可能な範囲で実施を目指す。</p> <p>③地域への情報発信（あさひだより）の内容を見直し、更なる充実を図る。</p>